

# ゆいのもり通信

所在地：〒196-0011  
東京都昭島市上川原町 1-9-15  
電話：042-542-5160



## ゆいのもりでの10年を振り返って

私は食工房ゆいのもりを利用し始めて10年が経ちます。これまでストレスを感じる事がほとんどなかったのが奇跡のようでした。職員さんたちの努力の賜物です。

ゆいのもり福祉協会にたどり着くまで色々ありました。2013年までは昼夜逆転の生活が続き、これではいけないと思い「東京しごとセンター」で職業適性試験を受け、今後のことについて相談をしました。最終的に2014年7月に地域活動支援センター「マーキー」に入所しました。職員さんと雑談をしながら1日を過ごしたことや、様々な活動をしたことが良い思い出になりました。(マーキーは2018年3月末に閉鎖。その後、地域活動支援センター「連」に入所しました)

マーキーでの活動にも慣れた頃、「そろそろ再就職に備えてB型作業所に通いたい」という希望を担当職員に伝え、2015年7月頃に「食工房ゆいのもり」に入所する事ができました。将来、再就職をした時、自宅から少し遠いB型作業所の方が良いという事で選びました。

最初の体験実習で初めて工房の仕事をさせてもらいました。失敗したらきつい口調で怒られるという思いで仕事をして、終わった時には緊張のためどっと疲れました。実習中にミスはありましたが、叱られる事はありませんでした。その後、正式に利用開始となつてからは、色々な仕事をさせてもらい充実した日々を

食工房ゆいのもり利用者

ゆいのもり福祉協会評議員

加藤 博之

送る事ができました。食工房ゆいのもりに通って変化したことは、今まで出来なかった「毎日日記をつける習慣」と「金銭管理(家計簿をつける習慣)」です。また体重が13キロ減ったのが自分ながら快挙だと思います。

今後、取り組んでいきたいことは、地域社会に溶け込むこと、エンディングノートを完成させること、部屋の片づけをする習慣を身に付けることです。あと安定した通所で、毎日、4～5時間働ける事を目標にしています。今は軽作業をしていますが、缶バッチの安全ピン付け作業を5時間で800～1000個できたら達成感を感じます。

現在、ゆいのもり福祉協会の評議員もやらせてもらっていますが、会議に参加するたびに、法人の活動の広がりを感じます。これからも支援が必要な人に手を差し伸べ、活動の輪を広げてほしいと思います。私もこれからもゆいのもりと一緒に成長をしていきたいと思っています。

### 目次

- P1 巻頭言
- P2 ゆいのもり施設見学会  
一泊旅行  
副施設長挨拶
- P3 産業まつり  
いきいき健康フェスティバル  
共同募金御礼
- P4 メンバー投稿  
編集後記



# ゆいのもり施設 見学会のご案内

**日時** 2025年10月18日(土)  
10:00~15:30

**場所**

- ゆいのもりつつじが丘  
〒196-0012 昭島市つつじが丘3-5-6-108
- 食工房ゆいのもり  
〒196-0011 昭島市上川原町1-9-15
- ゆいのもりわかば  
〒196-0011 昭島市上川原3-4-32
- グループホーム  
※窓口は食工房ゆいのもりになります

**内容**

ゆいのもり各事業所を1日限定で一般開放いたします。各事業所の取組や、利用者様がどのような仕事をして過ごしているのか見学できる機会となっております。また、見学会と同時に説明会も実施いたします。『ゆいのもりってどんなところ？』『何をしているの？』『福祉施設ってなに？』疑問にお答えできる機会となりますので、ぜひご参加ください！

## ゆいのもり施設見学会を開催しました

2025年10月18日(土)に、法人内の4事業所において、家族の皆さま、関係機関、地域の方々を対象としたゆいのもり施設見学会を開催いたしました。

当日は約50名の方にご来場いただき、事業所ごとの取り組みや、メンバーの皆さんが日々どのような仕事や活動に取り組んでいるのかなどを、実際の様子をご覧いただきながら紹介しました。また、見学とあわせて説明会も実施し、「福祉施設とはどんなところなのか」「どのような仕事をしているのか」「どのような支援が受けられるのか」など、参加者の皆さまの疑問に丁寧にお答えしました。普段なかなか見る機会のない現場を直接見ていただいたことで、福祉サービスへの理解を深めていただく良い機会となりました。

さらに、地域企業の皆さまや民生委員の方々にもご参加いただき、地域との連携を改めて強く感じる一日となりました。今後も、地域に開かれた施設として、皆さまに身近に感じていただけるような取り組みを続けてまいります。(食工房ゆいのもり 半田正博)



## 一泊旅行 ～3事業所合同で行ってきました！～

2025年11月27日(木)～28日(金)に、長野県と山梨県へ一泊旅行に行ってきました。2日間とも天候に恵まれ、綺麗な富士山を見ることができました。

1日目は石井味噌店で昼食をとり、松本城の見学、宿泊先の浜の湯で宴会を楽しみ温泉にゆっくり浸かりました。

2日目は諏訪大社下社秋宮の見学、八ヶ岳チーズケーキ工房

で昼食をとり、最後にマルス穂坂ワイナリーの見学を楽しみました。

今年は久しぶりの3事業所合同の一泊旅行ということもあり、夜の宴会では美味しいお食事を囲みながら皆さんでカラオケを楽しみ大盛り上がりでした♪他事業所の方々と交流を深めることができ充実した旅行となりました。また来年度も皆さんとの一泊旅行を楽しみにしています！

(ゆいのもりつつじが丘 田中浩子)



## 副施設長就任の挨拶

令和7年11月16日付で食工房ゆいのもりの副施設長に就任しました本橋剛と申します。

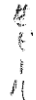
これからも元気に自分らしく働けるゆいのもりを目指して活動していきたいと思ひます！まだまだ勉強不足な面は多々ございますが、どうぞよろしくお願い致します。







## 昭島市産業まつり



昭島市産業まつりが2025年11月23日(日)・24日(月)の2日間開催されました。今年の産業まつりは、カインズ昭島店周辺特設会場での開催となりましたが、例年同様たくさんの方で賑わっていました。私たち食工房ゆいのもりも、昭島産のブルーベリーや卵を使用したパンを含め沢山の商品を準備して、イベントに参加しました。両日ともたくさんのお客様にお越しいただき、お昼ごろには完売となる盛況ぶりでした。ありがとうございました。今回からお揃いの黄色いパーカー

ーを新調して、より一体感を強めお店を盛り上げてみましたが、いかがだったでしょうか？

今後も地域のイベントに参加させていただき、昭島市の産業を盛り上げていけたらと思います。

最後に出店にあたり、準備をしてくれた食工房のメンバーの皆様、そしてご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

(食工房ゆいのもり 金山幸司)



## いきいき健康フェスティバル

2025年9月15日(月・祝)に、ゆいのもりつつじが丘は、いきいき健康フェスティバルに参加しました！メンバーさんと一緒に、今年は焼きそばとペットボトルの飲み物を販売しました。

たくさんのお客様にお越しいただいて、170食の焼きそばを販売することができました。

慌ただしい1日でしたが、たくさん販売することができて、一緒に販売をしたメンバーさんとも達成感を分かち合えました♪お越しいただいたみなさん、ありがとうございました！

(ゆいのもりつつじが丘 増川聡美)



東京都共同募金からご寄付 (令和6年度配分)

- ・ 太陽と風 200,000円 (社会訓練)
- ・ ゆいのもりわかば 300,000円 (宿泊訓練)
- ・ 食工房ゆいのもり 180,000円 (災害対策用備品)

研修旅行の日帰り・1泊バスツアー費、発電機購入代に使わせていただきました。ありがとうございました。





## ゆいのもりつつじが丘

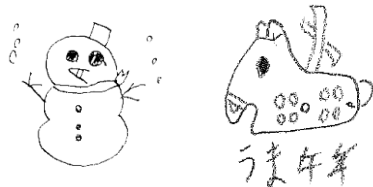
- ・最高の施設です
- ・楽しい所です
- ・思いやり／生きがい、たのしい職場
- ・働く場所
- ・通処と作業所を分けてくれるホームセンターみたいに訓習してくれる所
- ・同じ様な悩みを持つ人々が互いに話し合って克服して解決する場所
- ・居心地の良い場所、職員さんやメンバーさんがいることで安心し嫌なことや不安なことを忘れさせてくれる

## 食工房ゆいのもり

- ・人生そのもの、生きがい、仕事の目的を叶える、目標、なくてはならぬもの、人と人とのふれ合い、幸せを共有する場
- ・色々な経験と出会いがある場所
- ・落ち着ける場所、なやみがあったら相談できる場所
- ・就職活動場所です
- ・天狗(?)になりやすい(?)自分にとって。基本(初心、原点)に立ち返らせてくれるようなところ
- ・あたたかい居場所
- ・常に心の中で祈りつづける場所

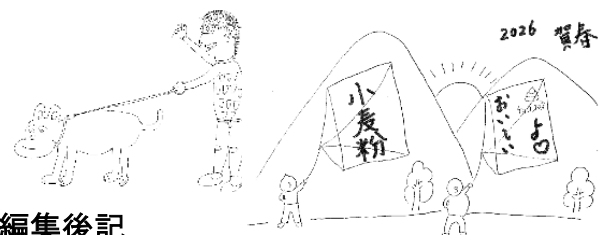
## 太陽と風

- ・心強いです
- ・日課
- ・人生を見つめ直す場。毎日の生活ペースを整える所。友人と交流する場。グループホームですが、イベント、夕食会が楽しいです。
- ・自分を成長させることができる場所
- ・安眠と療養の本拠地は、ここ、ゆいのもりです。娘共々お世話になっております。緑が良いです。静かなのでよく休ませてもらっています。
- ・話の場



## ゆいのもりわかば

- ・自分にできることが限られている中でも、頑張って、自分の目標に向かってやっていこう！とメンバーさんや職員さんと助け合いながら生活できる場所です【ハチ】
- ・心と忍耐力と体力をつける
- ・自分の歩む道を切り開く
- ・周りに支えられてまっとうな生き方ができる
- ・作業所が3つある。私も23年前、ザ・サードゆいのもり(ゆいのもりわかば)と食工房ゆいのもりの2つを見学して、2つ体験して、きめました。
- ・グループホームが3つある。5年前、グループホーム(太陽と風)に正式に入所して、3年後、都営住宅の独選を3回目で当選して、今の住所に引っ越しました。
- ・メンバーの社会復帰のことに、職員が理解がある。10年近く前、就職を目指して就労プログラムに参加して、1~2年後、H市のA型作業所に入所したことがあります。
- ・タイムマシンのようです。勤務時間は、未知の世界、勉強になることが多いです。昼食時間は、高校生に戻ったようです。弁当持参か食工房のパンだからです。退勤時は、小学生の下校時刻となるため小学生に戻ったようです。そういえば、私が小学生の頃は、55歳が定年だったと思います。そして、休日はカレンダー通りのため、新人時代に戻ったようです。学びに終わりはありません。私自身、この先も様々なことを学んでいこうと思います。



## 編集後記

私にとってゆいのもりとは、自由に働かせてもらえる場所ですね。ちょっと私は自由すぎる気がしますけどね。(蜜蜂)